

第1回裾野市廃棄物減量等審議会

日時：令和7年10月30日(木)15:00～16:55

場所：裾野市役所 地下会議室A

出席者：委員9名

事務局4名

1. 開会

2. 環境市民部長あいさつ

3. 自己紹介

4. 会長あいさつ

5. 議事

議事進行：会長

(1) 令和6年度答申後の市の取組みについて

① 資源化の促進

● 事務局が資料に基づき説明

(主な意見)

- 富岡支所のペットボトルの拠点ステーションが溢れている。富岡地区の拠点ステーションを増やすことを検討してもらいたい。
- 雑がみ回収の学校の実績が少ないように感じる。
- 雑がみの排出方法の拡大について、周知不足を感じる。色々な手段を考えてもらいたい。
- 資源化について、区ごとで競わせてはどうか。以前は、優良ごみステーションの表彰などをっていた。何か区に対するインセンティブがあってもいいかもしれない。
- 充電式（リチウムイオン電池内臓）機器の排出先は資源物の電池類だが、わかりにくいで、何か方策を考えてもらいたい。
- 剪定枝の処理について、須山にできるバイオマス発電所と連携ができるといいのではないか。
- 古着の拠点増について、公共施設の空いているスペースなどで検討してもらいたい。
- 布団衣類の回収イベントを年2回ではなく、年4回などに増やしてもらいたい。また、時期を固定し、定着化を図ってもらいたい。

② ごみ処理の有料化の導入

- 事務局が資料に基づき説明

(主な意見)

- 粗大ごみの戸別収集について、実施方法の検討状況を確認したい。
- ごみ減少のためには、指定袋の有料化を早期に検討してもらいたい。
- 有料化の実施時期が当初の計画より遅れ、令和8年10月開始予定になった理由を教えてもらいたい。

(事務局) 粗大ごみのステーション回収や市民への周知期間などを考え、令和8年10月開始予定とした。

(2) 美化センター以後の廃棄物処理体制について

- 事務局が資料に基づき説明

(主な意見)

- 広域の枠組みは、3市2町しか考えていないのか。

(事務局) 当市周辺エリアで組合せが決まっていないのはこの3市2町であり、現在は3市2町で検討を進めている。相手があることから、現時点では他の組合せは考えられない。

- 処理施設が遠方になればなるほど、交通リスクがある。

(事務局) 様々なリスクが存在しているのは承知している。そのようなリスクも含め、事業手法を検討していきたい。

- 民間活用について、民間事業者が最初は良い話をしていても、施設運営が始まったら単価の増加等を求められる可能性がある。リスクが高いと思う。

6. その他

7. 閉会